かわさき区の宝物シート

宝物No.
10-3

わかみやはちまんぐう・わかみやきょうどしりょうしつ
若宮八幡宮・若宮郷土資料室







写真提供：若宮八幡宮・若宮囃子保存会

エリア	大師地区 大師周辺	シーズン	通年
		日時	

目的	■ 観る　■ 遊ぶ・体験する □ 食べる　□ その他
宝物定義	□ ものづくり　■ イベント・祭り □ 味づくり　□ にぎわい □ 現代の文化的なもの　□ 港めぐり ■ 歴史的なもの　□ 人物

所在地	川崎区大師駅前2-13-16
問い合わせ	若宮八幡宮
TEL	044-222-3206
FAX	044-233-3060
E-mail	
URL	http://tomuraya.co.jp/wakamiya.htm （e-大師ネット／若宮八幡宮）
交通	京急大師線川崎大師駅より徒歩1分

マップ



基礎情報

■大師地区の総鎮守。地域に密着した神社として親しまれている。御祭神は仁徳天皇。大田区の八幡塚六郷神社の氏子たちが、大師河原を開拓した際に鎮守として祀った治水と干拓の守護神。毎年8月上旬に開催される連合渡御「御輿のお山入り」は、若宮八幡宮から平間寺までの渡御で、神仏混着の名残を今にとどめている。
■参集殿2階の郷土資料室（金山神社の民俗資料室も併設）には、かつて大師の辺りが海だった頃に使われていた漁具や海苔養殖器具、農機具、民具など様々な生活用品や文献が展示され、往時の隆盛をしのぶことができる。
■鎮守の祭りには欠かすことのできない日本を代表する民俗芸能の祭囃子。「若宮八幡宮囃子保存会」は、今は川崎市内でも数少なくなった囃子連の一つで、伝統の大師の囃子を地域に継承するため熱心な活動を続けている。

由来・エピソード

■御祭神の仁徳天皇は、淀川の治水工事を完成させたことで治水と干拓事業の守護神として崇められており、多摩川の洪水に頭を悩ませた大師河原の人々が祀ったことに由来する。一般に、応神天皇を祀る神社を八幡宮、その御子である仁徳天皇を祀る神社を若宮八幡宮といい、「若宮」という名は子どもや若者の守り神をあらわしているともいわれる。江戸時代、川崎大師平間寺に参拝する多くの人々は、万年屋脇からの大師道を通り道とし、その間に位置する若宮八幡宮は大いに賑わったという。
■境内には、天保4～5年(1833～34)に苦界(九橋)を抜け極楽浄土(川崎大師)に至る願いを込めて二ヶ領用水に架けられた九橋の最後の橋の欄干や石材、11個の力石など大師河原の歴史を伝えるものが数多く残る。また「連合渡御」以外にも春の「かなまら祭」、「夏祭り」、秋の「水鳥の祭」など季節の祭礼や、参加者が海苔つくりに挑戦できる「のりまつり」、ふいごを使い鉄つくりを再現する「ふいごまつり」など、年間を通して多くの催しが開かれている。
■かつては市内でも数多くの「囃子連」があった。大師河原には明治以降、六郷の平野惣次郎氏によって本格的に囃子が伝えられた。平野氏は目黒の洗足流（目黒囃子）、横浜の綱島流を習得し六郷に伝えた。大師河原の一部は多摩川対岸の六郷神社の氏子であったことから、祭礼時には六郷から御輿が引き船に乗せられ、笛太鼓に囃され多摩川を渡ってきたという。そして昭和はじめに六郷囃子を引き継ぎ大師河原一帯にひろめたのが平野氏の直弟子の中山安太郎氏（通称花安さん）で、大師の囃子の礎を築いたといわれる。
■若宮八幡宮囃子保存会会長の木村和治郎さんは祖父から3代にわたる囃子の担い手、継承者である。恩返しの気持ちから20年前から六郷神社でも囃子を指導しているという。保存会会員は小中学生を中心に総勢23人。7組の親子も参加し家庭での親子の対話も活発という。大太鼓1人、小太鼓2人、笛1人、鉦(かね)1人が本来の五人囃子だが、多くの子供に体験してもらいたいと小太鼓4人の編成をとっている。太鼓3年、鉦7年、笛10年、あわせて20年かかって1人前という。月500円の会費で週2回の練習を重ね、若宮八幡宮などの祭礼や「川崎市民俗芸能発表会」でも腕前を披露している。

補足・その他

■資料室は入室無料。
■4月第1日曜日には境内社の金山神社の「かなまら祭」が行われ、10月の第3日曜日に開催される「水鳥の祭」では酒合戦の会場となる。
■境内社は、金山神社以外にも藤森稲荷神社、大鷲神社、厳島神社が祀られている。かつては大師河原の守り神として、それぞれの地に鎮座したが、近年の再開発等によって若宮八幡宮境内に祀られることになった。また大師地区に所在する水神社、川中島神明神社、塩浜神明神社、塩浜稲荷神社、汐留稲荷神社、出来野厳島神社、田町稲荷神社、田町厳島神社の総鎮守でもある。

関連シート

(6-10)中島八幡神社祭囃子
(10-4)若宮八幡宮 神輿連合渡御
(10-5)金山神社・金山神社郷土資料室
(10-6)田町厳島神社
(10-7)水鳥の祭
(10-8)かなまら祭
(10-9)かわさき大師サマーフェスタ